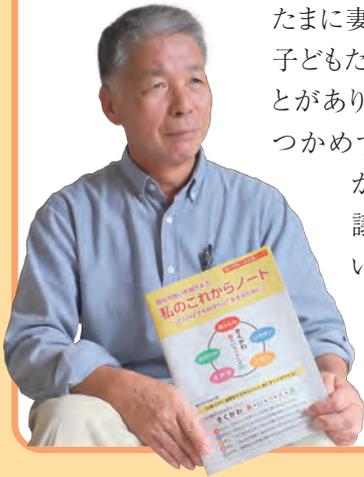


～interview～

～ももものこと、考えてみました～ いつか家族で人生会議ができれば

人生会議は知っていましたが、機会が無くなかなか実践できていませんでした。しかし、「私のこれからノート」作成体験会の参加を機に初めてノートを書き、書いただけでは思いを伝えきれないことに気が付きました。例えば、「どんな治療を受けたいか」と一言でいっても、「あの場合は…この場合は…」となってしまうため、状況を考えて繰り返し話し合うことが大切だと感じました。自分のこれからについて、



たまに妻とは話をしますが、子どもたちとはまだ話したことがありません。きっかけをつかめずにいますが、いつか家族で「人生会議」ができればと思います。

ひでお
曾根秀夫 さん
(河東中)

あなたを支える大切な人にとって、話ししたりするなんて縁起でもない」と思われるかもしれない。しかし、誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。「健康だから大丈夫」「まだ若いから関係ない」ではなく、元気で想いを伝えることができる今だからこそ、行動することをおすすめします。

あなたが自分らしく生きるために、大切な人と人生会議を始めませんか。

命の危険が迫った際、
今後の自分の希望
を決定したり、伝えられなくなる人の割合

70%

～市の想い～ 大切な人と気軽に話し合いを

会議といわれると難しく考えてしまうかもしれませんが、人生会議のやり方に決まった形はありません。例えば、皆さんでのお食事のときなど、軽い気持ちでお話をしてもらえればと思います。大切なことは、会議をやったという事実

ではなく、日頃からのコミュニケーションです。自分らしく生きるために、自分のこれまでとこれからの人生について、ぜひ大切な人と話し合ってみてください。



長寿介護課
ひろみ
山本洋美 係長

人生会議をサポートします 活用ください“私のこれからノート”

市では、「人生会議」を始めるきっかけとなるように菊川市版人生会議ノート「私のこれからノート」を配布しています。人生会議をやりたいけど、何を考えたらいいか、どう伝えたらいいかがわからないなどの不安がある人は、ぜひノートを活用ください。



～配布場所～

- 地域包括支援センター
 - ・ けやき窓口(プラザけやき内)
 - ・ あかっち窓口(家庭医療センター内)
 - 医療・介護などの協力機関
 - 講座などのイベント時
- 市では、出前行政講座などでノートの使い方の説明も行っています。詳細は、市ホームページ(右記)をご覧ください。

